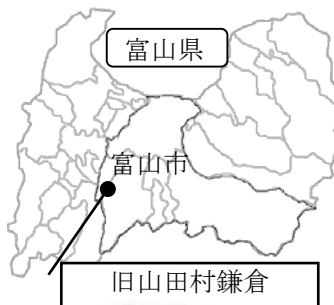


とやまし 特産品の栽培による取組事例(地域資源を活用し、売れる特産品を開発)〔富山県富山市〕

1. 地域農業の状況

○ 富山市山田地域は、富山市の南西部に位置し、中央を南北に流れる山田川を挟み、標高100mから500mに集落が点在する日本海側特有の気候を有する中山間地である。

○ 水稻単一経営にとらわれず山田地域の特産物である「啓翁桜(けいおうざくら)」と「ソバ」の作付を平成19年から実施。促成栽培により、1～2月に花を咲かせる啓翁桜は、冬期に一足早く春の気分を味わえることで人気がある。



啓翁桜



荒廃農地(再生前)



再生された農地

2. 荒廃農地再生利用の取組

取組主体	鎌倉営農組合	地区名	山田鎌倉地区
再生面積	0.2ha (地区農地面積10.9ha)	取組年次	平成22年～平成23年
作付作物	啓翁桜、マコモタケ等	販路	地域の農産物直売所、市街地の店舗・飲食店

【特産品の栽培による荒廃農地の再生利用と発生防止】

- 地域振興と耕作放棄防止として年配者でも管理しやすい 啓翁桜の栽培を花木生産組合にて取り組みを開始し、栽培規模の拡大にあたり荒廃農地を再生し活用することとした。
- 再生農地において、平成23年度から啓翁桜を栽培し、販売を開始する一方、荒廃農地の発生を予防するため、新たな特産物として「マコモタケ」の栽培にも意欲的に取り組んでいる。

【再生や発生防止をきっかけとして地域農業が活性化】

- 啓翁桜に加え、新たな特産物として「マコモタケ」の栽培を行うことで、複合経営を確立。
- これを基盤として、「マコモタケ」の加工品開発に取り組み、地域企業と連携し、「マコモタケの昆布じめ」を商品開発。
- また、「マコモタケ」を使った料理講習会や「マコモ」の葉を使った「しめ飾り」作成講習会など、特産品の栽培が地域の活性化に貢献している。



マコモタケの栽培



活用した支援策

- ・耕作放棄地再生利用緊急対策交付金(国)(再生作業、土壌改良、営農定着)
- ・食と地域の交流促進対策交付金(国)